

図書紹介・New Publications

魚類学雑誌
42(3/4): 335, 1995

□ 魚類相

Marine Fishes of the Ken-Ting National Park.—Kwang-Tsao Shao, Jeng-Ping Chen and Shi-Chieh Shen. 1992. Ken-Ting National Park Headquarters, Construction and Planning Administration, Ministry of Interior. 427 pp. 台湾南部にある国立公園の魚類をまとめた本である。水中写真、標本のカラー写真、各種の短い説明および検索表がついているが、すべて中国語。しかし、図鑑なので内容は大体理解できる。(KM)

The Collector's Guide to Fossil Sharks and Rays from the Cretaceous of Texas.—Roger F. Farish and Bruce J. Welton. 1993. Before Time, Lewisville, TX, USA. xviii + 204 pp. ISBN 0-9638394-0-3. ¥6,750 (税込)。(KS)

□ 分類学・進化学一般

Animal Evolution: Interrelationships of the Living Phyla.—Claus Nielsen. 1995. Oxford University Press, Oxford, England; New York, USA; Tokyo, Japan. xi + 467 pp. ISBN 0-19-854868-0. US\$45.00. 著者はコペンハーゲンの動物学博物館の研究者。魚類の高位分類群の系統

類縁関係はいまだに安定していないが、動物界全体の系統関係も同様に安定しているとはいえない。本書は魚類研究者にとって普段馴染みの少ない無脊椎動物(この名称は便利ではあるが、もちろん単系統ではない)を含む全動物群の系統関係を示している。(KM)

Vertebrates: Comparative Anatomy, Function, Evolution.—Kenneth V. Kardong. 1995. Wm. C. Brown Publishers, Dubuque, Iowa, USA; Melbourne, Australia; Oxford, England. xvii + 777 pp. ISBN 0-069-21991-7. 著者はワシントン州立大学の研究者。脊椎動物の比較解剖学や系統関係に興味のある人にとって必携の書。(KM)

□ 魚類学一般

Fish: An Enthusiast's Guide.—Peter B. Moyle. 1995. University of California Press, Berkeley and Los Angeles, California, USA. xii + 272 pp. ISBN 0-520-20165-5. ¥2,060 (税込)。(KS)

The Rise of Fishes: 500 Million Years of Evolution.—John A. Long. 1995. University of New South Wales Press, Sydney, Australia. 223 pp. ISBN 0-8018-4992-6. 約 ¥7,000。(KS)

会員通信・News & Comments

魚類学雑誌
42(3/4): 335-337, 1995

国際動物行動学会に参加して
—シンポジウム Ethology of Coral Reef Fishes に
おけるテーマの多様化—

猛暑のこの夏、もっとも航空運賃が高い日盆の8月10～17日に、第24回国際動物行動学会議(International Ethological Conference)がハワイのホノルルで開催された。日本からの参加者は、それぞれ飛行機の予約や費用の捻出に苦労したはず。着いてみると、宿舎と発表会場

に当てられたのは、まさにワイキキビーチを望むもったいないような(?)リゾートホテルであった。学会は40カ国から参加者547人という大盛況で、うち合衆国208、日本49、ドイツ48、オーストラリアとカナダがそれぞれ17(以下略)。運営上のさまざまな困難を、大学院生のボランティアの皆さんの力で乗り越えたようだ。Losey博士、Reese博士をはじめ、留学中の麻生氏、吉川氏、ハワイの皆さんに心より御礼申し上げたい。毎日午前中は4題のプレナリー講演があり、午後から各会場で口頭発表が行われた。ポスター発表は前期後期に分けて夕方行われたが、口頭発表の会場からやや離れていたし、時間